

2009 甦れ!! 協同組合運動 「青森県漁民大会」開催

去る7月27日、青森県漁業協同組合連合会、青森県漁業経営安定対策本部、並びに、青森県新漁業協同組合運動協議会が主催する“2009甦れ!! 協同組合運動「青森県漁民大会」”が青森市民ホールで開催された。

この大会は、漁獲不振や慢性的な魚価安・環境・漁場問題等多くの不安要素が、将来的に安定した漁業経営の障害となっている中、現状の諸問題を認識し、漁業者の意識の向上・高揚を図るとともに、「漁業金融」と「資源管理」を最重要事項に掲げ、この状況を打開し浜の再生と活性化を目的として開催したものである。

大会には、来賓に田中順造青森県議会議長を始めとして、木村稔JF全漁連副会長（東北地区漁業漁協対策協議会代表）、大井誠治JF岩手県漁連会長、福島県漁連・信漁連の両専務を迎え、そして県内漁業関係者約500名が参加した。

角田順一JF下前漁協組合長の開会で始まり、主催者を代表して植村県漁連会長が、「資源の回復と漁業版金融回復のため、漁業協同組合運動の原点に立ち帰っての研鑽努力をし、その実現のため一致団結する事を深く認識するため、この青森県漁民大会を開催致しました。」と挨拶した。続いて、来賓の田中県議会議長及び木村JF全漁連副会長より御祝辞をいただいた。

続いて、東京大学社会科学研究所の加瀬和俊教授が、「漁業振興政策と漁業金融の役割」と題し、「漁業政策の内容は、漁業の発展段階や金融機関行政のあり方によって異なるべきであるとの事実」に注意を向け、あるべき漁業政策、漁業金融政策のあり方について考える」とする内容の基調講演を行った。



壇上の風景



開会する角田組合長



植村県漁連会長



田中県議会議長



会場の参加者



木村全漁連副会長



講演する加瀬教授

